

# 会 議 録

会議録	平成29年度 第4回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバスの路線改編について さなげ・足助線</p> <p>(2) 地域バスの路線改編等について</p> <p>①足助地域バス(「通学線」 路線定期運行)</p> <p>②足助地域バス(「地域巡回線」路線定期運行)</p> <p>③鞍ヶ池地域バス(路線定期運行・区域運行)</p> <p>④稲武地域バス(区域運行)</p> <p>⑤松平地域バス(区域運行)</p> <p>⑥小原地域バス(区域運行)</p> <p>(3) 名鉄バス自主路線の廃止意向に対する対応について</p> <p>(4) 設楽町営バスの路線改編について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 地域バスの路線改編について 下山地域バス(区域運行)</p> <p>(2) 平成29年度 豊田市幹線系統 国庫補助対象路線の評価について</p> <p>(3) おいでんバス運行10周年記念事業の実績について</p> <p>(4) おいでんバスの利用促進について</p> <p>(5) 平成30年地域公共交通優良団体 国土交通大臣表彰候補団体の応募について</p> <p>4 その他</p> <p>・次回、会議の開催予定について</p> <p>5 閉 会</p>
日 時	平成30年2月9日(金) 午後2時00分～午後3時40分
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校)  野田 宏治 (豊田工業高等専門学校)  山本 進一 (国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所)  杉本 忠久 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)  桑原 良隆 (愛知県振興部交通対策課) (代理：石屋)  岩月 康男 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課)  坂部 哲也 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課)  柿本竜一郎 (愛知県警察足助警察署)  岩月 正光 (豊田市都市整備部)  小澤 伸也 (社会福祉法人豊田市社会福祉協議会) (代理：川合)  安藤 賢治 (豊田市区長会)  二宮 京市 (豊田市高齢者クラブ連合会)  釘宮 順子 (とよた市民活動センター運営協議会)  加藤 憲治 (愛知県タクシー協会)  古田 寛 (公益社団法人愛知県バス協会) (代理：小林)  深町 明弘 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会)  堀田 大祐 (名古屋鉄道株式会社)  近藤 博之 (名鉄バス株式会社)  横田 太 (豊栄交通株式会社)  西川雄一郎 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資料	1. 次第 2. 平成29年度 第4回 豊田市公共交通会議 会議資料

#### 【協議案件】

##### (1) とよたおいでんバスの路線改編について (さなげ・足助線)

- 委員 さなげ・足助線については、地域間幹線系統の補助対象路線であるので、今回の改編で路線が延長するなら、手続が必要となるのでお願いしたい。
- 事務局 承知した。
- 委員 「斉藤病院」バス停なら病院に行く人が多いのだと思う。上りのバス停位置をもう少し病院側に寄せると体の不自由の方にも良いのではないか。
- 事務局 移設後のバス停位置については、警察と協議をして安全に配慮してこの場所になっている。斉藤病院さんも病院の出入口を新しく作ることを考えていらっしゃるようだが、まだ詳細は決まっていない。今後、相談をしながら考えていきたい。

<協議結果：全員承認>

##### (2) 地域バスの路線改編等について

###### ①足助地域バス(「通学線」 路線定期運行)

###### ②足助地域バス(「地域巡回線」 路線定期運行)

- 事務局 【資料2-1】【資料2-2】に基づき説明。(同一内容のため)
- 委員 足助地域バスの契約期間はどうなっているのか。また、今回の路線改編が、子供の増減で行われるならわかるが、契約の途中で受託側の運転手の人手不足という理由で行われるのはどうなのか。

- 事務局 契約期間は1年で、平成30年4月1日から平成31年3月31日の予定である。今回の路線の統合は、運行事業者の運転手不足が深刻であることが理由で、これはバス業界全体で厳しい状況だということを受けて、今回の改編案ができています。また、今回の改編で、学生への負担が増えすぎないように配慮しており、早めに情報を伝えてご協力をいただいている。
  - 委員 改編の理由を「利便性の向上」としたらどうか。
  - 事務局 ご意見ありがとうございます。こちらで検討していきます。
- <協議結果：全員承認>

### ③鞍ヶ池地域バス(路線定期運行・区域運行)の休止及びタクシー活用実証実験について

- 事務局 【資料2-3】に基づき説明。
- 委員 タクシー活用実証実験について、タクシーの機動性を活かして皆に良かったと思われるように運行していただきたい。名鉄バス矢並線との関係を少し心配している。
- 事務局 タクシー活用実証実験については、山中町および矢並町内とスーパーやまのぶ市木店などで乗降できる。名鉄バス矢並線と競合することになるが、タクシーの運賃は名鉄バスより高い金額に設定している。名鉄バスとも調整をしている。
- 委員 地域バスの地域を越えた利用についての考え方について質問したい。地域内だけで買い物等ができたら良いが、そうでない場合、地域バスのあり方をどう考えているのか。地域を越えて利用者が地域バスを利用することはできるのか。
- 事務局 地域バスが地区外へバス停を新設するなどの基準については現在詳細を検討中である。なるべく早く明確な指針を決めていきたいと考えている。公共交通基本計画の中でも示してあるが、「地域」とは中学校区を1つのエリアで考えている。今回新たに設定した4つの施設は、同じ中学校区内での設定であるから、地区外ではないが、日常生活に必要な施設として新たに設定した。
- 委員 タクシー活用実証実験はうまくいかなかったときどうするのか。元に戻すのか廃止にするのか。まずは、地域バスを地区外に走らせてから実験を3ヶ月くらいやる考えもあるのではないかと。それとも、タクシー活用の実証実験がうまくいかなかったら、鞍ヶ池バスの地区外バス停を認める等の対策を考えるのか。
- 事務局 実証実験であるので、実態と経費などを考慮して、持続できる形で地域の足として活用できるように、より良いやり方を考えていきたい。

<協議結果：全員承認>

### ④稲武地域バス(区域運行)

- 事務局 【資料2-4】に基づき説明。
- 意見等なし。

<協議結果：全員承認>

### ⑤松平地域バス(区域運行)

- 事務局 【資料2-5】に基づき説明。
- 意見等なし。

<協議結果：全員承認>

### ⑥小原地域バス(区域運行)

- 事務局 【資料2-6】に基づき説明。

- 委員 降りる場所を決めるのに運転手とのやりとりはどうするのか。
- 事務局 車内でのコミュニケーションはもちろん必要だが、基本的には、電話予約の際に自由降車をするかどうかを利用者に聞く予定だ。具体的な場所はコミュニケーションを取りながらやっていきたい。
- 委員 行きに乗ったバス停と帰りの降りる場所について、帰りは逆になるが、帰りは行きに乗ったバス停の1つ先のバス停で降車予約をしないと、自宅付近で自由降車ができないという制約があるのか。
- 事務局 降車予約をしたバス停を越えての自由降車は想定していない。バス停の向こうに自宅がある場合については、1つ先のバス停での降車を予約して、その手前で自由降車していただくことになる。その辺りの情報提供についてもしっかりとしていきたい。

<協議結果：全員承認>

### (3) 名鉄バス自主路線の廃止意向に対する対応について

- 事務局 【資料3】に基づき説明。
- 委員 地域と調整して代替案を作っていくのはわかる。平成30年10月1日に名鉄バスの東山住宅線と九久平線が廃止となることが決まっているが、資料にある「運行事業者」とは誰のことか。また、東山住宅線の利用者は122千人、九久平線の利用者は93千人ということで、おいでんバスからみるとなかなかの利用者数である。名鉄バスの利用者数はおいでんバスより多いのだから、廃止については届出制という事情もあるが、もう少し早く名鉄から情報提供してもらったほうが良いのではないか。競合路線の運賃については、おいでんバスは運賃調整をしている経緯もある。今後、自主路線の廃止の意向があったときに、事務局の対応としてはどうするのか。
- 事務局 「運行事業者」とは、代替措置をとる、おいでんバスの運行事業者のことだ。名鉄バス自主路線の廃止の際の措置については、まずは自主路線の廃止ということが起きないように、おいでんバスと名鉄バスのあり方を協議をして、ネットワークを維持することを目指していきたい。次に、補助金を出して自主路線を存続させるか、おいでんバス路線の改編で対応するかということになるが、それはケースごとの判断となる。今回は補助金を出しても名鉄バス自主路線が維持できないとのことなので、おいでんバスの路線の改編を検討している。
- 委員 今回廃止となる東山住宅線や九久平線について、そのままおいでんバスで引継いで維持する選択肢もあるのかなと思う。
- 事務局 意見を参考にさせていただいて、様々な方面から検討をしていきたい。

<協議結果：名鉄バス自主路線が平成30年10月1日に廃止になることについて、全員承認>

<おいでんバスでの代替案については、次回6月の公共交通会議にて継続協議>

### (4) 設楽町営バスの路線改編について

- 事務局 【資料4】に基づき説明。
- 意見等なし。

<協議結果：全員承認>

### 【報告案件】

#### (1) 地域バスの路線改編について（下山地域バス(区域運行)）

- 事務局 【報告1】に基づき説明。
- 意見等なし。

(2) 平成29年度 豊田市幹線系統 国庫補助対象路線の評価について

○事務局 【報告2】に基づき説明。

○委員 おいでんバスと地域バスの7系統は地域間幹線系統であり、県で事業評価を行って国に提出している。豊田市に関連するものは、この7系統のほかに名鉄バスの自主路線である岡崎・足助線と矢並線についても地域間幹線系統として評価している。名鉄バスの自主路線についても、皆様に関心を持っていただいて、利用状況をチェックしていただければと思う。

(3) おいでんバス運行10周年記念事業の実績について

○事務局 【報告3】に基づき説明。

意見等なし。

(4) おいでんバスの利用促進について

○事務局 【報告4】に基づき説明。

○委員 バスカードなどをバス車内に置くとのことだが、車内事故が心配だ。置く場所に配慮したり、走行中は席を立たないようにという旨の掲示などを考えてほしい。バスカードは1,000枚限定なのか。また、1人1枚か。

○事務局 走行中の安全については、ポスターなどを掲示して対応したい。バスカードなどは希少性を考えて、1,000枚としている。また、1人1枚と考えている。

(5) 平成30年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰候補団体の応募について

○事務局 【報告5】に基づき説明。

○委員 平成21年度から大臣表彰の制度が始まっている。地域公共交通の優良団体を表彰して、他の市町村へ優良事例についての情報提供をして参考にしていただくという側面もある。中部運輸支局は、豊田市公共交通会議について、自信をもって推薦させていただく。

(6) その他 全体を通じた意見等

○委員 公共交通会議は、今後もおいでんバスに関してだけでなく、他の路線バスについても、運行事業者の方々のご協力をもとに情報共有する場として活用していただき、公共交通全体の利用促進などを目指していただきたい。

○委員 バスガイドブックを活用しているが、バスマップの内容をガイドブックの中に入れる余地はないのか。また、豊田市を舞台にした映画「星めぐりの町」のロケ地めぐりマップなどにもバスでの行き方などを載せるのはどうか。

○事務局 バスガイドブックやバスマップは今の形が良いという人もいるが、今後、バスガイドブックやバスマップを作成する際の参考とさせていただきたい。公共交通を利用していくことについてロケ地などの観光情報などもあわせて検討し、利用促進に努めていきたい。

4 その他

・次回、会議の開催予定について（平成30年6月の開催を予定。）

以上